

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (東北)	◎	コンビニ（店長）	お客様の様子	・ウクライナ情勢により原油価格が上がっているが、大分慣れてきたようで、客は普通の買物になってきている感じがある。
	◎	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・前年のこの時期は卒業式、入学式、入社式といったものが延期や中止、リモートになるなどしたため、4月に向けた準備をする人が減る状況にあった。今年はそのような春の準備は順調に推移しており、来客数が前年よりも増加している。
	○	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・3回目のワクチン接種の開始に伴い、鎮痛剤や体力をつけるための商品が動いているので、通常よりは良くなっている。
	○	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・来客数は横ばいだが客単価が上がってきている。エネルギー価格の上昇で消費者の儉約志向が強まるとみていたが、店頭の様子はそうではない。危機感が逆に健康志向につながり、医薬品・健康食品等の需要が増しているような感じがある。
	○	百貨店（経営者）	販売量の動き	・月中の地震の影響は2～3日みられたが、年度末の人の移動が増え、手土産を含むギフト需要なども前年よりは活発に動いている。新型コロナウイルス新規感染者数は高止まっているが、販売量は以前ほどの減少傾向にはなっていない。
	○	コンビニ（経営者）	単価の動き	・単価の増加が来客数減少をカバーし、結果、販売増加につながっている。
	○	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・季節的にも気温が上がっているのと同時に、新型コロナウイルスに慣れてきている感じがある。
	○	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が解除されてからは、入学、卒業などのモチベーション需要に加え、ふだん着需要も少しずつ以前の状態に戻りつつある。
	○	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・入学式を開催する学校が増加したことで、スーツ需要が大幅に回復している。
	○	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・来客数は徐々に増加中であり、僅かだが受注も伸びつつある。ただし、新型コロナウイルス等の影響による稼働遅れ、配車遅れにより登録に結び付かない状況で、直近の売上が伸びない。
	○	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	販売量の動き	・飲食店や観光業の状況はまだまだ厳しいが、少しずつ動きも出てきているようである。年度末、春の観光シーズンということもあり、その準備、事前発注という形で注文が入ってきている。前年は動きが全くなかったが、今年は動きがあるので有り難い。また、制服リニューアルの話も結構出てきている。今まで我慢していた企業もそろそろ買換えのタイミングなのかもしれない。
	○	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・ワクチン接種は2回でもう十分と考える人が多く、3回目を打つ人が少なくなっている。
	○	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・3月になり、土日の昼は2月よりは客が訪れる雰囲気が出てきている。新型コロナウイルスの新規感染者数の減少に比例して、客が少し増えてきたのかと思う。しかし、例年の3月と比べればまだ半分にも届かない状況である。
	○	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・今月に入って予約の件数がやや増えてきている。まん延防止等重点措置の適用地域ではなかったが、濃厚接触者の扱いの変更が大きいという感じがする。
	○	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除になり、全国的な新規感染者数の減少が明らかになるにつれ、宿泊者の動きが出てきている。
	○	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置の解除により、個人旅行の先行予約が緩やかに増加している。団体旅行においては相談案件数が個人旅行同様に緩やかに増加傾向にあり、申込み案件も数件発生していることから、3か月前と比較すればやや上向いている。
○	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・年度末決算の関係で自治体関係の受託事業の精算月となっており、3か月前から比べれば良くなっている。	

○	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・旅行業につき、感染者数、人流動向と販売動向は一定相関する。3月に入り新規感染者数が減少し、まん延防止等重点措置が解除され、人流が活発になってきている。
○	遊園地（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が収まってはいないが、マインド的に良くなっている。比較的天候も良く、新型コロナウイルス発生前には届かないものの、前年、前々年より上向いている。
○	美容室（経営者）	来客数の動き	・暖かくなってきたので、客も少しずつ増えてきている。
○	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・ロシアのウクライナ侵攻や半導体不足により、建設材の高騰が懸念され建設ニーズが減少していた。しかし、3月16日の福島県沖地震の影響で、地域により被害の状況は大きく異なるが、県内の自治体より災害復旧の見積りや現地確認の依頼が出ており、今後着手する予定がある。
□	商店街（代表者）	販売量の動き	・本来なら上向きが期待される年度末を前にして、地震による物流の停止や輸入の不安定などにより、販売が伸び悩んでいる。
□	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染のピークを過ぎたことで来客はようやく回復の動きを見せ、シーズンの購買動向が上がってきている。しかし、大きな改善というほどの勢いはない。
□	百貨店（買付担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりし、連日死者が出る等、高齢者を中心に外出を控える傾向がみられ、一時は回復傾向だった来客数も減少に転じている。
□	スーパー（経営者）	単価の動き	・3月は平均1品単価が前年と同じであった。他方、来客数は前年比が前月と同推移で、また買上点数もそれに比例して減少している。とはいえ、消費の推移は前月とほぼ同じとなっている。
□	スーパー（店長）	販売量の動き	・3月の売上は前年比102.7%と、前月から0.6ポイント上がっている状況である。来客数は前年比99.4%と前月から0.2ポイント減少しており、買物回数が更に減ってきている状況である。
□	スーパー（営業担当）	お客様の様子	・客は値上げに対して敏感になっている。日替わり商品の購入や、ポイント還元、クーポンなどの利用が増えており、意外な価格での需要増加も発生して計画が立てにくくなっている。特に、油や粉製品などの価格には敏感になっている。
□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除になった。4月1日から商品が値上がりするので、どれだけ人の動きがあるのか心配だが、低い水準でも横ばいでいてくれれば幸いである。
□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で人の動きが余り良くない。
□	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・1月と比べても、季節トレンドによる来客数に変化はない。前年との比較でも変化はない。競合激化エリア以外の外的環境にも変化はみられない。
□	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・全国的に経済回復の傾向が出てきたことは非常に有り難い。新型コロナウイルス対策の自粛緩和も進んできて、このままの動きでGo To Travelキャンペーンができるようになれば、景気も新型コロナウイルス発生前までに戻ってくるとの期待感がある。現状では、来客数の動きを見てもまだ回復半ばの状態である。
□	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が依然多いため、来客数は少なく、観光客も激減しており土産品の売上がほとんどない。3月は私立高校の制服売上で何とか予算が達成できそうである。
□	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・出掛ける機会がないなど、相変わらず消費にはつながらない。新型コロナウイルスの感染拡大や、ガソリン・灯油を始めとする生活に直結する物の値上がり、ロシアのウクライナ侵攻など明るい要素がないなか、気持ちが上向きにならないようである。寒さが和らがないことも購買意欲へのブレーキになっている。

□	衣料品専門店 (総務担当)	来客数の動き	・コロナ禍のまん延防止等重点措置により来客数が減少している。
□	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・個人客の販売量はなかなか伸びないが、法人客はそれに伸びている。
□	乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・タイヤ交換時期であるが、まだ雪が残っているせいか客の来場件数が伸びてこない。売上台数も生産が正常化されていないため、いまだ納期は不安定なままである。
□	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・自動車業界は納期遅延が目立っている。売上になるのは納車後なので、依然、売上にならない状況は変わっていない。
□	住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・受注いただいているものを生産して納める受注生産だが、今月はさほど多くない。
□	住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・今月はお彼岸の月で、細かい商品で売上がキープした。しかし、仕入商品の値上げが著しく、価格に転嫁できない状況である。
□	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる影響をまだ引きずっている。Go Toキャンペーンに期待したいところである。
□	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は依然減っていない。自粛ムードが薄れ少しずつ動いてきていたが、地震の影響でまた止まった。東北新幹線が動いてないので首都圏から集客が厳しい。
□	観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数は減少傾向にあるものの、来客数に大きな変化はなく横ばいである。
□	タクシー運転手	来客数の動き	・3月21日をもって全ての都道府県でのまん延防止等重点措置が解除された。その3日前から人の動きが活発になってきているが、月の後半のため3か月前とは変わらない。
□	通信会社(営業担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの第6波が高止まり傾向で推移している。国民は感染症対策に慣れてきており、外出の自粛も緩み消費も回復しつつあるものの、景気の変化はみられない。
□	通信会社(営業担当)	お客様の様子	・客の設備投資意欲には変化はなく、継続して余り良くない状況である。
□	通信会社(営業担当)	お客様の様子	・特段の状況変化がない。
□	観光名所(職員)	来客数の動き	・大手旅行会社の募集团体は少ないが何とか動いている。日々の予約に関しては5～6人の大きなものはないが、2～3人の予約は日々少しずつ増えている。新型コロナウイルスの感染状況はまだまだ厳しいが、幾らかずつは人が動いており回復しているという感じがある。
□	美容室(経営者)	来客数の動き	・来客数は前年比90%前後の状況が続いている。一時期よりは良くなっているが、今月発生した震度6の地震によって、ドル箱の卒業式関係で規模の縮小や延期、被災による会場の変更などがあり、売上がダメージを受けている。
□	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・戸建て住宅用宅地の検索依頼が増え、徐々に受注につながるきっかけも増えてきた。
□	その他住宅[リフォーム](従業員)	販売量の動き	・住宅設備機器はコンロ、レンジフード、暖房器具の交換工事が増えている。リフォームは屋外の塗装と屋内の増改築工事が減っている。
▲	商店街(代表者)	お客様の様子	・学校や家庭内で新型コロナウイルスの感染が拡大している。加えて、電気・ガス・石油・ガソリン、原材料等の値上げもあり、景気は減退している。
▲	一般小売店[酒](経営者)	販売量の動き	・まん延防止等重点措置の解除後もなかなか人が動かない状況が続く。それに加えて、旅館ホテル関係の客先では地震による影響でまたキャンセルが多数発生し、販売量が更に減少している。
▲	一般小売店[寝具](経営者)	販売量の動き	・3月は多少なりとも商品が動くが、今年はほとんど動かない。コロナ禍で客回りができないこともネックになっている。
▲	百貨店(売場主任)	来客数の動き	・1月以降、来客数が前年を下回っており、まだ回復していない。

▲	スーパー（店長）	販売量の動き	・原油高の影響で商品は値上げ傾向にある。さらに、原価の高騰が予測されるため、商品の価格上昇による買上点数などの減少が心配される。
▲	スーパー（営業担当）	来客数の動き	・来客数は98.6%と前年を割り込み、買上点数は前年から少し落ち込んでいる。コロナ禍の影響と、値上げ等による節約意識の高まりがあるとみている。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が伸びず、前年比で8%減少している。一時戻りかけたとみられた来客数も中旬以降再び減少に転じている。新型コロナウイルスの影響が長引いている。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大のため、来客数の前年割れが続いている。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・例年の冬の来客数減少に加えて、新型コロナウイルスの影響で売上が下がり、除雪代の支払に電気代の高騰と地獄が続いている。さらに、人手不足も加速している。利益は出ず、休みはないなかでどうやって継続していけばよいのであろうか。本部は売上を上げると言っているが、それは加盟店に更なる負担を強いることに他ならない。今年を乗り切れるのか不安しかない。
▲	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・原材料価格の高騰や社会情勢による値上げラッシュが消費意識を低下させている傾向にある。
▲	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が全面解除されたが、県外からの来客数は伸びず、前月同様日々の売上は厳しい状況である。
▲	家電量販店（店長）	販売量の動き	・ウクライナ情勢やガソリン価格高騰など、いろいろな要素が客の購買意識に働いている。やや財布のひもが固くなってきている。
▲	家電量販店（従業員）	販売量の動き	・3月16日に発生した地震の影響がある。
▲	乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・回復基調だった車両生産だが、再度の工場ストップで見通しが狂ってきた。納車待ち客の対応を余儀なくされ、現場も混乱している。
▲	自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・当県もここに来て新型コロナウイルスの新規感染者数が増えているため、歓送迎会なども昼食会に切り替える等、人と会う時間を減らすなどの工夫をしている。また、飲酒は1次会で切上げているようである。
▲	その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症対策などは一段落したものの、地震などの自然災害と石油製品価格の高騰により、販売量が減っている。
▲	その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染は落ち着いてきたものの、地震の影響で新幹線等交通機関が止まっている影響がかなり出てきている。
▲	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・当県はまん延防止等重点措置の適用はなかったとはいえ、他県から客は来ることができず、県内客も自粛していたため、ひどい状態であった。それに加えて大きな地震もあり、人出が鈍っている。月の終わりに少しずつ予約が入ってきそうな状態になっているので、そこだけが唯一の光である。
▲	タクシー運転手	お客様の様子	・3月16日に東日本で震度6強の大きな地震があった。生活は良くなっていないが、タクシー業界的には地震に関する調査などの仕事がほどほどに増えている。
▲	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・地震、ウクライナ情勢、新型コロナウイルス感染の負の要因が刺激となって物価が上昇しており、少しずつ景気を下降させている。燃料の価格高騰、人流鈍化、雇用悪化等に関する客の声が前月より身近に感じられるようになった。
▲	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新年度に向けての人事異動や引っ越しの時期ではあるが、新型コロナウイルスの感染拡大が続いているため、新生活準備にブレーキが掛かっている。訪問営業の自粛や延期により思うような営業活動ができていない。
▲	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・地方は電気、ガソリンの価格高騰の影響が大きい。コスト削減の話ばかりになっている。

	▲	競艇場（職員）	来客数の動き	・天候が悪く雪が多かったり、地震があったりで客足が悪くなった模様である。
	▲	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの市中感染が収まらず高止まりで、全ての面で低調である。加えて、石油製品、ガソリン、油脂類の価格高騰、部品や材料の値上がりで、収支が悪化し深刻な状態である。
	▲	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が平均的に高いまま推移していることもあり、イベントなどへの反応が薄い状況が続いている。3回目のワクチン接種が進み、新規感染者数が減少しないと来場者数の増加は難しい。
	×	一般小売店〔書籍〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスや地震の影響がある。また、出版点数が少しずつ減っているために、売行きが良い書籍やアイテムが少なくなっている。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・3月は新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が減らず、繁華街には人が出てきていない。3月21日をもって全国的にまん延防止等重点措置が解除になったが、その前に地震がきており、当地には旅行客も来ていないため、当店の来客数も減っている。
	×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・あらゆる商品、サービス等が値上がりしている。さらに、ウクライナ情勢により客のマインドも低下しており、景気が悪くなっている。
	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・元々止まっていた飲食店に加え、2月頃から店頭販売も停滞している。まん延防止等重点措置が解除されたが、動きが出てくるにはまだ時間が掛かるとみている。
	×	その他専門店〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・新入学、新生活用の需要のある月だが、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加により、人混みを避ける状況が続いており、来客数、売上額共に大きく減少している。ある高校ではショッピングセンターへの立入りを禁止している。
	×	高級レストラン（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響は少なくなってきたが、今回の地震やそれによる新幹線の運転見合せの影響が心配である。良くなる要素がない。
	×	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が解除され、大学や高校の受験発表も終わり、歓送迎会の時期である。しかし、新型コロナウイルスへの警戒心は簡単には消えないようで、まん延防止等重点措置の解除後も人が動いていない。感染や後遺症を気にしなくても良いレベルの治療薬が出るまでは、夜の街の人出は見込めない。
企業 動向 関連 (東北)	◎	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べ、1割ほど受注増加となっている。
	◎	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・大型の民間設備投資案件の受注があった。
	○	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末の予算消化の意味合いもあり、2年前の受注まで回復しつつある。
	○	公認会計士	取引先の様子	・客の月次、あるいは決算状況から判断している。建設関係はある程度の利益を確保しているが、飲食関係は支援金で持ちこたえている状況である。小売、サービス関係は少し客が戻りつつあるようで、3か月前よりはおおむね改善している。
	□	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売量が前年比5～10%減少の状態であり、悪い状況に変化はない。
	□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・イベントが開催されないため印刷物が少ない。
	□	電気機械器具製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・半導体大口価格が我々の景気に大きく影響するが、現状の変動は想定内であり、景気としては変わっていない。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・購入部品の不足により設備の客先への納期が遅延している。それにより、全体的な生産納期が後ろにスライドし、計画の見直し等でいまだ先が見えてきていない状況にある。
	□	建設業（従業員）	取引先の様子	・原油価格の高騰から、4月以降、原材料の値上げの要請が多く届いている。

	□	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・1～3月の売上は、前年を上回ることがほぼ確定であるが、前々年1～3月の売上にはまだ届いていない。そのためか景気が戻ってきたというところまで達していない。
	□	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・ロシアのウクライナ侵攻により、欧州向けの輸出が減少している。
	□	通信業（営業担当）	取引先の様子	・少しずつではあるが、これまでの継続契約関係の深さに応じた客の反応が見え始めている。
	□	広告業協会（役員）	受注量や販売量の動き	・新規感染者数は減っていないが、3回目のワクチン接種が進んだことに加え、陽気もよくなり、若干ではあるが消費意欲も活発になる兆しが見えてきた。しかし、年度末の広告出稿増を期待したが、新型コロナウイルス発生前には遠く及ばない状況である。
	▲	農林水産業（従業者）	それ以外	・前年の収入は例年と変わらなかったが、春の生産資材が1～2割程度値上がりしている。
	▲	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・地震の影響で東北新幹線が止まっているため、駅店舗の売上が減少している。さらに、前年はテレビ番組に取り上げられたので通販が大きく伸びたが、今年はその分がなく通販が大きく減少している。
	▲	窯業・土石製品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・出荷は前年比でマイナス10%以上がずっと続いている。原材料や燃料の価格高騰で経営が圧迫されており、非常に厳しい状況である。
	▲	電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・これまでの市場価格実績よりも、大幅な価格低減提案を求められている。
	▲	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・コロナ禍が明けないうちに、今度はウクライナ情勢によって、原油や原材料価格の高騰や物価の上昇による消費低迷の懸念が高まっている。
	▲	経営コンサルタント	それ以外	・ロシアのウクライナ侵攻に伴う地政学的リスクが、資材調達難といった経済環境に影響し始めている。
	▲	コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・相変わらず主力商品であるIT関連商材の納期が見通せない状況が続いている。一部の商品の遅延で全体のシステムの構築ができず検収を受けられない案件が多々ある。非常に厳しい状況である。
	▲	その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・ウクライナ情勢により世界的に経済が悪化しており、食品の原料価格が非常に高くなってきていることから、値上げで日々困っている状況である。取引先の農家も価格に対する警戒心が非常に強く、販売するにも大変困っている。
	×	農林水産業（従業者）	それ以外	・燃料や農業関係資材の価格高騰で、収益が圧迫されている。
	×	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・元来落ち込む時期ではあるが、関東地方のまん延防止等重点措置、地震による交通障害等が人流の停滞に拍車を掛けている。
	×	金融業（広報担当）	取引先の様子	・住宅関連では、新型コロナウイルスの影響により展示場の閉鎖や商談キャンセル、契約の中止や延期が増加している。建築資材等の値上がりから新築価格上昇、中古住宅やマンションに流れる傾向もみられる。
	×	その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・まん延防止等重点措置の適用などがあったことにより、外食における制約条件が3か月前より厳しくなっている。また、3月16日の地震の影響で新幹線が不通になっていることも交流人口を減らしている。
	×	その他企業〔企画業〕（経営者）	それ以外	・3月16日の地震で震度6強が観測され、それが大きく報道されたことから、当地温泉街の予約の大半がキャンセルとなった。その後も続く余震で客足が遠のいた状況が続いている。新型コロナウイルスの感染が幾分落ち着きを見せた矢先の災害で経済的に大きな打撃を受けている。
雇用関連	◎	—	—	—
(東北)	○	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・来期の採用予定人数は増加傾向にあり、求人数も増加している。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・3か月前と比較して、新規求人数は約200人、有効求人数は約1500人増加している。

□	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・3か月前と比べると新型コロナウイルスの感染は収束しているが、円安により家畜の飼料や原材料の仕入価格が高騰しており、売値に転嫁できず利益を圧迫している。また、ウクライナ情勢も不透明であるため、人を採用して事業を拡大するという動きを一旦保留する企業が増えている。
□	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・首都圏に比べてオーダー数が前年を割っている状況である。企業はいまだ新型コロナウイルスの影響を強く受けており、採用に投下できる予算がないと思われる状況である。
□	人材派遣会社 (社員)	それ以外	・ロシアのウクライナ侵攻や東北の地震の影響、新型コロナウイルスの感染の収束鈍化などで、一部に企業活動停滞の動きが出ており、景気抑制の要因になっている感じがある。
□	職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・景気を支えていた大型商業施設や統合高校の建設工事は終了した。しかし、洋上発電工事が始まり作業員の食事や宿泊先の需要があるため、飲食店や宿泊施設への新型コロナウイルスの影響は引き続き最小限に抑えられている。
□	職業安定所(職員)	求人数の動き	・直近3か月は、前年同月比の新規求人数の増加幅に大きな変化はみられない。
□	民間職業紹介機関(職員)	周辺企業の様子	・前月から求人数自体に余り動きがない。
□	学校[専門学校]	周辺企業の様子	・県内の新型コロナウイルス新規感染者数が減少せず横ばいとなっているため、経済活動も現状維持か低下している様子がある。
▲	アウトソーシング企業(社員)	それ以外	・3月の受注が例年より少ない。
▲	新聞社[求人広告](経営者)	周辺企業の様子	・ウクライナ情勢で企業が先を見通せない状況になっている。具体的には広告費が前年以上に抑えられている。
▲	新聞社[求人広告](担当者)	周辺企業の様子	・東北新幹線の区間運休の影響で、温泉地や観光地でキャンセルが相次いでいる。
▲	職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・求人数が増えているが、求職者数の減少により企業は思うような採用活動ができていない。資材の高騰に加え、部品が入荷されないなどで仕事を休まざるを得ない状況となっている企業もある。娯楽業においても閉店を余儀なくされるケースが続いている。
×	新聞社[求人広告](担当者)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置が解除になり期待していた面もあるが、多くの客先で想定以上の落ち込みがあった。その上、大きな地震があり、新幹線の復旧が長引くなどしている。マイナス要素ばかりが目立つ。